

学習指導案 略案様式（特別の教科 道徳を除く）

3年1組	指導者	馬場 美咲	教科等	国語		
单元	单元名等	例の書かれ方に気をつけて読もう				
单元	目標	評価規準				
	知識及び技能	知識・技能	○比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使うことができるようになる。【(2)イ】			
	思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	◆目的を意識して、中心となる語や文をみつけることができるようになる。【C(1)ウ】			
单元の学習展開（全7時間）	学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	○目的を意識して、粘り強く中心となる語や文をつけ、それらを明確にして文章の構成を考えようとするようとする。			
	单元の学習展開（全7時間）					
	導入	<input type="checkbox"/> 学習の見通しをもつ。				
	展開	<input type="checkbox"/> 文章全体の組み立てに着目して内容をとらえる。				
本時（4／全7時間）	終末	<input type="checkbox"/> 食べ物について書かれた本を読み、感想をまとめて友だちに伝える。 ・学習をふりかえる。				

ねらい	「中」の段落であげられている事例の順序について、 教師のエラーモデルと比較することによって、 事例の順序に筆者の意図があることに気付くことができるようとする。 【◆思考・判断・表現 ノート記述】
学習過程	「めあて」 れいのあげ方のじゅんじょについて考えよう。
本時（4／全7時間）	「振り返り」 ・「じゅんじょをいれかえると読みづらくなった。」 ・「工夫がかんたんのからせつめいしている。」 ・「じゅんじょを表す「次に」「また」「さらに」という言葉をつかうことで一番わかりやすい工夫からむずかしい工夫になっていくのがわかった。」
努力を要する状況の児童生徒に 対する手立て	【予想されるつまずき】 ・事柄の順序に着目してならべかえることが難しい。 【必要な支援・手立て】 ・事例にあげられている食品に写真をつけ、写真と文章の両方からとらえやすくする。